

FY2022活動報告

2023年7月

FY2022活動計画について



FY2022は、コロナ禍により実開催のイベントを行うことが困難な状況が継続していたため、企業の資金調達の円滑化の観点から特に重要と考えられる課題を優先的に議論するとともに、検討結果の実現に向けて関係各方面に働きかけを行うことや、会員同士が経済・金融環境の変化を適時に捉えられるよう情報提供すること等を目的として、次のとおり計画を策定いたしました。

FY2021から継続して取り組むテーマ

① 優先的に取り組むもの

- ESG・SDGs調達の検証（FY21の活動も踏まえ、調達側の課題と対応 等）
- 社債市場の活性化（POT方式・マーケティング期間短縮）

② 環境変化や会員意見を踏まえ、必要に応じて取り組むもの

- リモートワークにおける財務活動の課題

その他個別テーマ

- 財務オペレーションの効率化・高度化（RPA、Fintech等）
- 財務戦略（格付会社対応、金融機関政策、株主還元政策、調達戦略等）
- 財務人材の育成・ノウハウ継承
- グローバルキャッシュマネジメント（金融子会社の機能高度化）

■ ESG・SDGs調達に関するセミナーの開催（2022年11月15日）

ESG・SDGs調達については、新たな商品や調達手法が日々創出されており、世間からの注目度も高いことから大和証券様にご登壇頂き、最新の資金調達スキームやマーケット環境についてご説明頂く会をオンラインにて開催致しました。

講師	主な内容
大和証券株式会社 サステナビリティ・ソリューション推進部長 清水 一滴様	<ul style="list-style-type: none">・国内外のSDGs債 発行動向・リンクボンド ICMA原則/国内ガイドライン・リンクボンド SPTs/債券特性・トランジションファイナンス・国内外のSDGs債 発行動向

■ 社債市場の活性化（POT方式・マーケティング期間短縮）

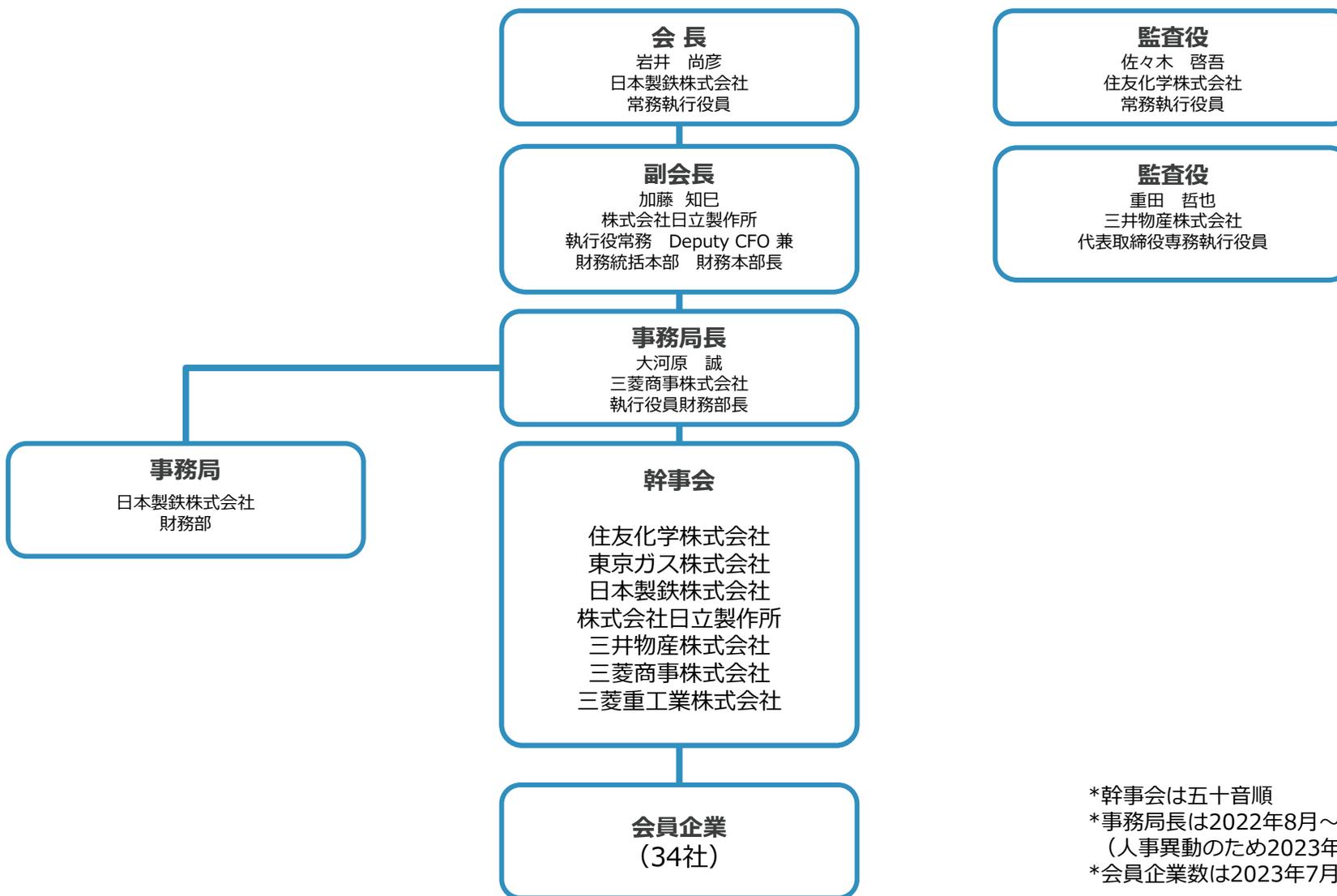
2021年1月にトランスペアレンシー方式が導入された事で従来のリテンション方式からPOT方式に一步近づき、起債運営や販売状況等の透明性が大きく向上しました。

弊協議会では、トランスペアレンシー方式導入後のマーケットを引き続き注視し、新たな論点や課題が顕在化した場合に会員間での情報交換や証券会社を招聘してのセミナーの開催等を検討して参ります。

FY2022 運営体制



- 第32回定例総会（2022年7月29日決議）より下記の組織体制・役員で2022年度の運営を行ってきました。
- 7社の企業で構成された幹事会は定期的を開催され、協議会の運営の中心的な役割を担っています。
- 2023年7月の総会決議を以て、8月1日より新体制となる予定です。



*幹事会は五十音順
*事務局長は2022年8月～2023年3月
（人事異動のため2023年4月以降空席）
*会員企業数は2023年7月現在

会員数推移

